

城南の風

編集・発行 城南地区まちづくり協議会総務部

篠山市小枕 城南コミュニティーセンター

TEL: 079-506-0955 FAX: 079-506-0956

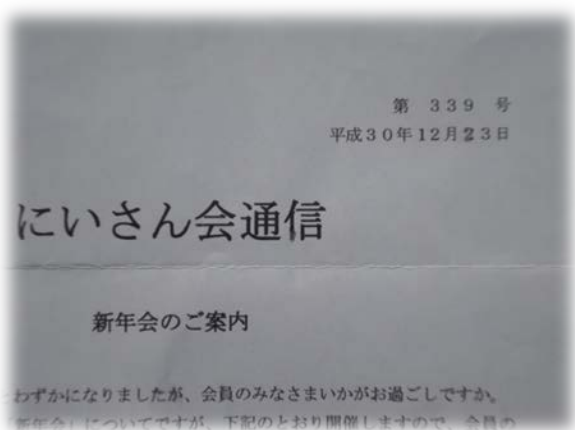
ホームページ <http://www.jounan-sasayama.jp>

この会誌に記載の情報は城南まちづくり協議会ホームページにも掲載されています。

平成31年1月14日（月）

にいさん会が発足した経緯は、村に住んでいても若い人たちが気楽に話し合える機会がほとんど無く、挨拶すらあまりしなくなっており、危機感を抱いたのがきっかけです。37年前に発足した当時の会員は20～30歳代の若者だったので、にいさん会と名付けました。今も発足当時の会員が数名残っており、60代後半になっております。何回も解散の危機がありましたが、少数意見・若い人の意見を大切にしてきたので長く続いたコツだったと思えます。現在10名の会員で毎月の例会や花見・旅行・新年会等で活発に活動しています。また、にいさん会の会員は村の中心となって、日役や村の行事・村の役員等で頑張っております。

宇土まちづくり委員



ソフトボール同好会へのお誘い

スポーツクラブ21城南では、新たにソフトボール同好会を作ろうとしていますのでご加入下さい。

日 時： 平成31年3月24日（日）午前10時～（4月以降は、調整中）
場 所： 城南小学校グラウンド
問合せ： 中嶋英之（090-3715-0687）

健康につながれば何でも小集団で出来ることを提案して行きます。

スポーツクラブ21城南 代表 酒井清隆（090-2015-3849）

平成 31 年 1 月 14 日 (月)

冬晴れの 1 月 14 日(月)、真南条上自治会では恒例の「ふれあい とんど祭り」を公民館で開催しました。この催しは、古くから伝わりとんど焼きを継承するとともに、子どもから大人、老人までの 3 世代交流で地域の活性化を図ろうと毎年開催しているもので、今年は 60 人が参加しました。

朝 9 時すぎ、家庭から持ち寄られたお正月のしめなわや書き初めを次々と燃やし、全員で今年 1 年の無病息災を願いました。参加した子どもたちは会場では杵と臼を使った餅つきを自治会役員とともに体験したほか、親子での凧揚げ、コマ回しを楽しみました。また、お昼には、堀井聡自治会長が「平成最後のお正月を無事過ごすことが出来ました。今年 1 年、元気で明るくお過ごしください」とあいさつを行った後、全員でつきたてのお餅や手作りのおでんを食べ楽しいひと時を過ごしました。



平成 31 年 1 月 13 日 (日)

一昔前までは、1 月 15 日の小正月の前夜に、小学校の高学年から中学生の男の子ども達が、地域の家々から藁をもらって来て、何日もかけて山から掘り出して来た切り株 (通称「かっくり」) を燃やす。あらかじめ切ってきた子どもの背丈の 2~3 倍の 2 本の竹の先に、村の神社で作ってもらった御幣を差し込む。子ども達の手には、30cm~40cm ほどの竹の筒を持つと、いよいよ「狐狩り」(通称「狐がえり」) の準備が整う。今年は 1 月 13 日(日)にお宮さんや役員にお世話になり、準備が整えられた。

今年の口村では、中学 2 年生の寺田璃音さんを先頭に、小学 4 年生から中学 2 年生までの男女併せて 6 人の子ども達が勢揃いした。このころになると、燃やした藁は、すっかり切り株に燃え移り、松ヤニがゴーゴーと燃えさかり、真冬とはいえ炎の廻りは温かくなり、子ども達の
<3 ページへ>



<2ページから>

頬は赤くなる。

家に着くと、竹筒を口に当て勢いよく吹くと「プー！」という音が夜空に鳴り響き、口上の文句を唄い始める。『我らはここで何するぞ。山の神に雇われ狐狩りをするぞ！……えーん、えーん、プー！（竹筒の音）』と唄って、40～50軒ほどの家々の人びとの健康と安全を祈り厄払いをする。



平成30年12月31日（月）

大晦日の昼12時から約2時間、小枕青壮年会が、小枕公民館で村人に蕎麦を振る舞う第5回「年越しそば」のイベントを行った。リーダーの西野智彦さんが先頭に立ち、調理から配膳まで男性会員12名の手で行い、村人約70人の老若男女のお腹を満たした。

この「年越しそば」のねらいについて、西野さんは「子どもから高齢者まで温かいそばを食べて頂くことで、地域を盛り上げていきたい。」と述べていた。集まってきた村人たちが、笑みを浮かべながら食べ、語り合うことで「地域の輪」が盛り上がっていた。また、世話をする青壮年会の会員も満足そうであった。

小枕 西山



平成30年12月26日（水）

年末押しせまった12月26日、栗栖野自治会及び女性会共催の「生け花講習会」が同公民館で実施されました。

これは、篠山市社会福祉協議会の助成を受けながら10年以上続いている行事で、迎春にふさわしい花材をもとに、会員の有志が講師を務め模範の活け方を披露し、老若男女の参加

<4ページへ>

<3ページから>

者それぞれが工夫しながら自分流にアレンジしながら生け花を楽しみました。そこにはお互いに褒めあったりアドバイスをしたり…とても明るく暖かい空気が流れ、良いふれあいの機会になりました。作品は、それぞれ持ち帰り各家庭のお正月の床の間やお部屋を明るく飾ることでしょう。



平成30年12月20日(木)

アグリステーションで城南小学校1年生20名と幼稚園年少組22名、幼稚園年長組26名が授業の一環として年末年始の暮らしを体験しました。

その体験とは餅つきで、当日は早朝よりまちづくり協議会と幼稚園の保護者がスタッフとして対応しました。子供たちは9時過ぎから一斗二升の餅米をスタッフに助けってもらいながら、慣れない手つきでカ一杯杵を持ち上げつきあげました。そしてきな粉やあんこ、砂糖醤油やおろしの4種類の餅をスタッフにより作ってもらい、美味しくロー杯ほおばっていました。子供達からはホッペタが落ちそうぐらい美味しかったとか、餅つきが出来て大変良かったなど様々な意見が出ていました。最後に子供たちに一番おいしかった餅との問いかけには、砂糖醤油餅で次にきなこ餅やあんこ餅とのことでした。最近各家庭で杵による餅つきを体験する子は僅かであり、良き思い出となったと思います。

